

見学したお城【他都道府県】

< 1 > 小峰城【福島県白河市】（2003年8月）



【小峰城】日本100名城。東北石垣造り三名城。1340年に結城親朝により築城。1632年に丹羽長重により御三階櫓(天守)が造られた。戊辰戦争で焼失、東日本大震災で石垣が崩れた。

< 2 > 天鷲城【秋田県由利本荘市】（2003年9月）



【天鷲城】江戸時代亀田陣屋(亀田城)があったが、戊辰戦争で焼失。その後、城門と石垣が復元された。天鷲城はそこに建てられた模擬天守。

< 3 > 横手城【秋田県横手市】（2003年9月）



【横手城】小野寺氏が築城したと伝わるが、築城年については諸説ある。室町時代あたりと思われる。江戸時代、本多正純・正勝父子が将軍秀忠暗殺を企てたとして、横手城に幽閉された。戊辰戦争で落城。現在は二の丸に模擬天守が建っている。

< 4 > 小田原城【神奈川県小田原市】（2003年12月）



【小田原城】日本100名城。1417年大森頼春により築城。北条氏の居城として知られている。豊臣秀吉が小田原征伐で小田原城を落城し、天下統一を果たしたことで有名。何度も天災で天守がなくなってしまったが、現在の天守は1960年に再建されたもの。

< 5 > 鶴ヶ城【福島県会津若松市】（2006年6月）



【鶴ヶ城・会津若松城・黒川城】日本100名城。1384年蘆名直盛が小田垣の館（東黒川館）を造ったものが始まりといわれる。その後、伊達政宗、蒲生氏郷と渡り、蒲生氏郷によって近世城郭に改造され、若松城となる。江戸時代1593年、7重になる天守が完成し鶴ヶ城とした。1611年会津地震で倒壊。再興するも戊辰戦争後、解体された。昭和40年に外観復興再建された。

< 6 > 白石城【宮城県白石市】（2006年6月）



【白石城・益岡城】続日本100名城。この城に関する資料はあまり残っていない。中世、刈田氏、白石氏が居城としており、その後、伊達家の勢力下になった。その後、蒲生氏郷の家臣・蒲生郷成が入り、改造した。上杉、伊達と変わり、伊達家の家臣・片倉景綱が城主となり明治まで片倉家の城として存続した。明治7年に民間に売却され取り壊された。平成7年に三送櫓等の復元が行われた。

< 7 > 上山城【山形県上山市】（2006年8月）



【上山城・月岡城】1535年に上山義房の子武衛義忠が築城した。その後、めまぐるしく城主を務める氏族が変わるが、上山藩は幕末まで続いた。一時は三重の天守、各所に櫓門があり、「羽州の名城」として知れ渡っていた。1873年に完全に廃城。1982年に模擬天守が建立された。

< 8 > 熊本城【熊本県熊本市】（2007年3月）



【熊本城・銀杏城】日本100名城。城造りの名人といわれる加藤清正が千葉城・隈本城のあった場所に1606年に新たに熊本城を築城した。江戸時代、加藤家から細川家に渡り、城の修繕をしながら拡張されたらしい。西南戦争時に原因不明の火災で大小天守などが焼失。西郷隆盛に「おいどんは官軍に負けたとじゃなか。清正公に負けたとでごわす」と言わせるほどの難攻不落の名城だった。1960年大小天守などを再建。2016年熊本地震で被災。

< 9 > 犬山城【愛知県犬山市】（2009年3月）



【犬山城】日本100名城。国宝。応仁の乱の最中、1469年織田広近がこの地に砦を築いたことに始まる。1537年頃織田信康が現存天守の2階までを造営。関ヶ原の戦いでは西軍の拠点の1つとなった。1871年に廃城。天守以外の櫓・城門のほとんどは取り壊された。1935年に天守が国宝に認定される。（1952年に再認定）

< 10 > 名古屋城【愛知県名古屋市】（2009年4月）



【名古屋城・金鯱城・金城・名城】日本100名城。関ヶ原の戦い以降、徳川家康は九男の義直の尾張藩の居城として1609年に西国諸大名の助役で築城。天守石垣は城造りの名人加藤清正による。明治維新後も天守と本丸御殿は保存され、1891年の美濃地震でも大きな被害を受けなかった。1942年に国宝に認定。しかし、太平洋戦争で1945年、名古屋空襲で大小天守、本丸御殿などが焼失した。1959年に天守は再建された。

< 11 > 逆井城【茨城県坂東市】（2018年2月）



【逆井城】1450年代の築城と伝わるが正確には不明。小山常宗が逆井を名乗りこの地を居城にしたという。古河公方の逆井氏は北条氏と対立。逆井氏の滅亡と共に落城。北条氏の元で新たに築城された。1590年、豊臣秀吉の小田原征伐による北条氏の滅亡により廃城となった。現在は、櫓・土塀・櫓門・木橋などが復元されている。

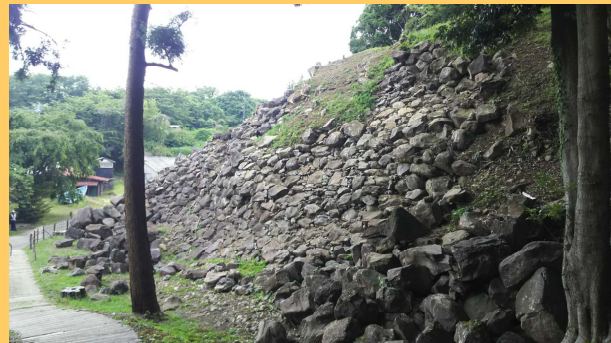
< 12 > 結城城【茨城県結城市】（2018年11月）



【結城城】1183年、結城朝光が結城郡の地頭職につき築城した。落城することもあったが江戸初期まで結城氏の居城であった。小田原征伐後、徳川家康の次男秀康を養子に迎え、結城の地は一時天領となり廃城となった。その後、1700年、水野氏が結城に移封され、結城城が再興され、明治まで水野氏が治めた。戊辰戦争時に多くが焼失した。現在は、城跡公園があるが、碑も見つからなかった。

< 13 > 石垣山一夜城【神奈川県秦野市】

(2019年6月)



【石垣山一夜城・太閤一夜城】続日本100名城。1590年、豊臣秀吉が小田原征伐の際に小田原城から3kmの地点にある笠懸山の山頂に築城した。小田原城からは、一夜にして築城されたように見えたため、一夜城と言われた。石垣や櫓を備えた近世城郭で関東最初の総石垣造りの城。現在も広い敷地にしっかりとした石垣が残っている。



[HOME](#)



[お城HOME](#)